
地域経済活性化支援機構(REVIC)の 取組み事例について

株式会社地域経済活性化支援機構
Regional Economy Vitalization Corporation of Japan (REVIC)

2018年10月



1.REVIC概要と 地域観光活性化ファンド

REVIC概要

- 1 名称 : 株式会社 地域経済活性化支援機構
Regional Economy Vitalization Corporation of Japan (略称 REVIC)
- 2 設立 : 平成21年10月14日 (株)企業再生支援機構
(社名変更日: 平成25年3月18日)
- 3 本社所在地 : 東京都千代田区大手町 1 - 6 - 1 大手町ビル 9 階
- 4 資本金 : 約261億円
- 5 株主 : 預金保険機構等
- 6 役職員数 : 293名 (平成30年6月26日時点)
- 7 主務大臣 : 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣
※観光庁、環境省とは包括的な連携協定を締結

| | | | | | | |
|--------|----------|-------|---------|--------|------|--------|
| 8 役員 : | 代表取締役社長※ | 林 謙治 | 社外取締役※※ | 松嶋 英機 | 特別顧問 | 三村 明夫* |
| | 代表取締役専務 | 渡邊 准 | 社外取締役※ | 石村 等 | 執行役員 | 國府 利計 |
| | 常務取締役 | 伊野 彰洋 | 社外取締役※ | 根本 直子 | 執行役員 | 廣瀬 泰文 |
| | 常務取締役 | 中石 斉孝 | 社外取締役※ | 樋渡 啓祐 | 執行役員 | 櫛田 泰宏 |
| | | | 社外取締役※ | 冢森 信善 | 執行役員 | 坂田 達也 |
| | | | 監査役 | 山崎 彰三 | 執行役員 | 兵頭 賢 |
| | | | 監査役 | 西原 浩一郎 | 執行役員 | 竹山 智穂 |
| | | | | | 執行役員 | 安藤 年式 |

※※ 地域経済活性化支援委員会 委員長
※ 地域経済活性化支援委員会 委員

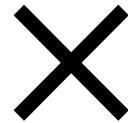
*特別顧問の三村 明夫氏は日本商工会議所 会頭

- 9 子会社 : REVICキャピタル(株)、REVICパートナーズ(株)、(株)日本人材機構

REVICのミッションとパートナー

- 地域経済の大動脈たる「地域金融機関」と連携することで、REVICのミッションを実現する

REVIC



地域金融機関

事業者の再生・成長支援
地方公共団体等との連携

地域経済の活性化
地域の信用秩序の基盤強化

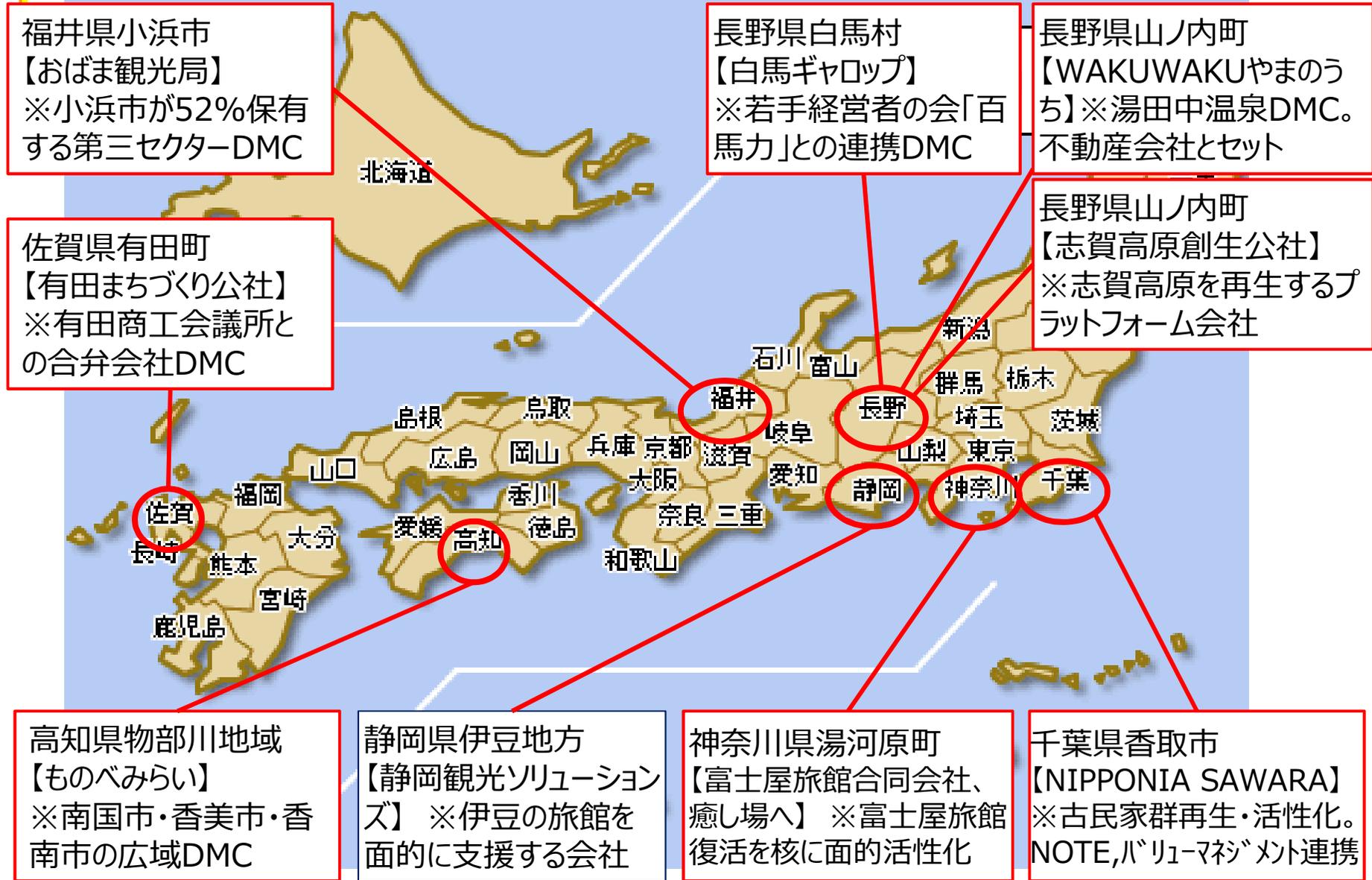
REVICの地域観光活性化ファンド運営地域一覧（平成30年9月31日現在）

| No | ファンド名称 | 設立年月 | 地域 | 出資金融機関 | 投融資実績 |
|----|--------------------|----------|---------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1 | 観光活性化マザーファンド | 2014年3月 | 全国 | 日本政策投資銀行、リサ・パートナーズ | NOTEリノベーション&デザイン、Kiraku Japan、船坂酒造店等 |
| 2 | わかやま地域活性化ファンド | 2014年1月 | 和歌山県 | 紀陽銀行、きのくに信用金庫、新宮信用金庫 | 加太まちづくり会社、三楽荘 |
| 3 | やまと観光活性化ファンド | 2015年3月 | 奈良県桜井市 | 大和信用金庫 | 桜井まちづくり(株)、(株)フクダ不動産 |
| 4 | ALL信州観光活性化ファンド | 2015年3月 | 長野県（山ノ内町、白馬村） | 八十二銀行始め長野県内に本店を有する全ての地域金融機関10行 | WAKUWAKUやまのうち、白馬ギャロップ、志賀高原創生公社、帰ってきた蓼科 等 |
| 5 | 静岡観光活性化ファンド | 2015年3月 | 静岡県 | 静岡銀行及び県内地域金融機関6行、観光活性化MF | VILLAGE INC、しずおか観光ソリューションズ、もちや、新井旅館、ぬくもり工房 |
| 6 | 佐賀観光活性化ファンド第1号 | 2015年7月 | 佐賀県（有田町） | 佐賀銀行はじめ佐賀県内に本店を有する全ての地域金融機関8行 | 有田まちづくり公社、STUDIO JIKI |
| 7 | ふくい観光活性化ファンド | 2015年8月 | 福井県（小浜市） | 福井銀行 | (株)まちづくり小浜 |
| 8 | 千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド | 2015年9月 | 千葉県（香取市） | 京葉銀行、佐原信用金庫 | (株)NIPPONIA SAWARA不動産、(株)NIPPONIA SAWARA |
| 9 | 奈良観光活性化ファンド | 2015年9月 | 奈良県 | 南都銀行、観光活性化MF | (株) easygoing、まほろのディアブルーイング(株)等 |
| 10 | 九州観光活性化ファンド | 2015年10月 | 九州 | 福岡銀行、熊本銀行、親和銀行、大分銀行、宮崎銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、観光活性化MF | (株)御花、(株)リバーサイド、五島自動車(株)、(株)松秀 等 |
| 11 | 高知県観光活性化ファンド | 2015年10月 | 高知県（物部川地域） | 四国銀行 | ものべみらい、香北ふるさと公社 龍河洞みらい、ヤシパーク |
| 12 | かながわ観光活性化ファンド | 2016年3月 | 神奈川県（湯河原町） | 横浜銀行 | 富士屋旅館合同会社、癒し場へ |

() はパイロット地域

地域観光活性化ファンドによるモデル作り投資一覧

DMC

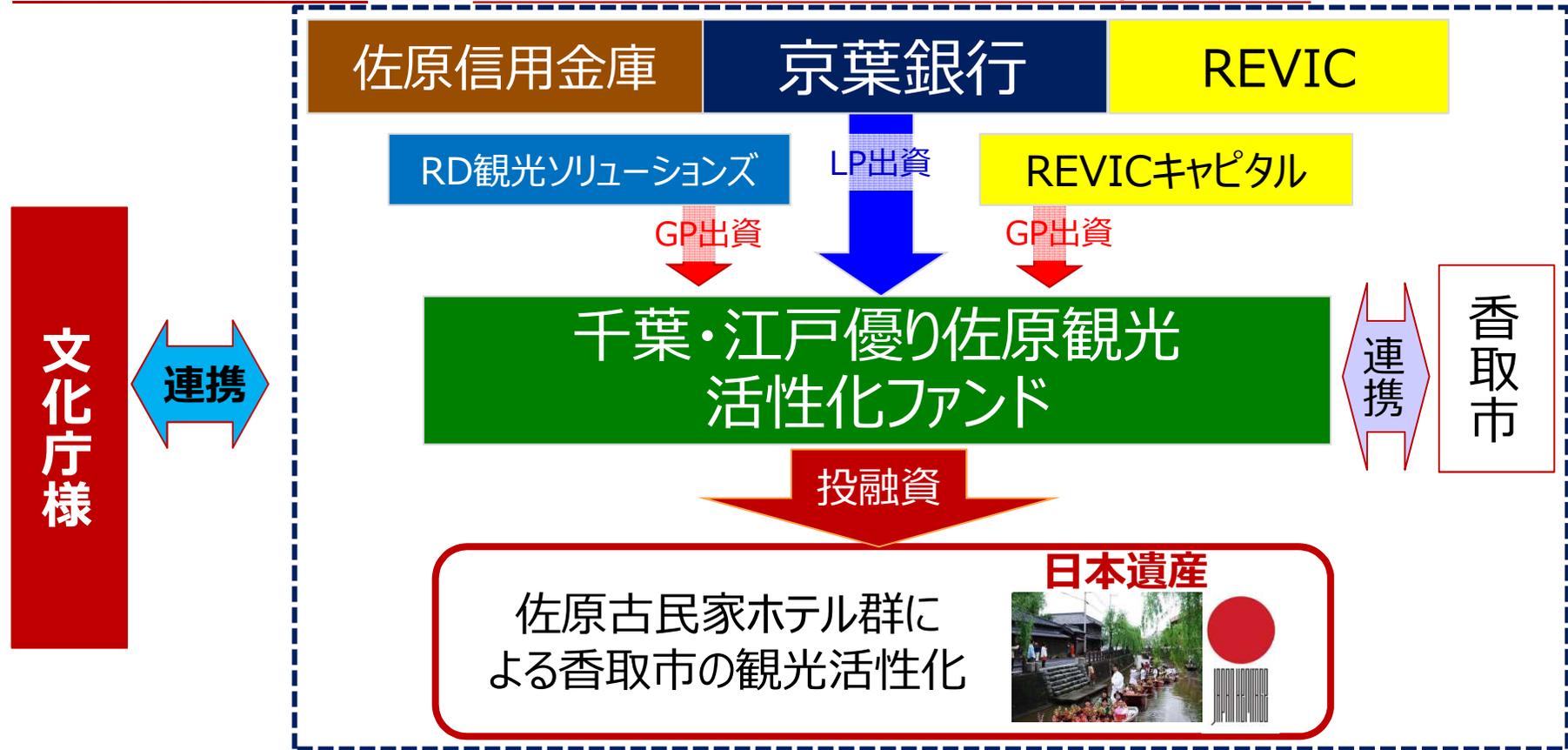


千葉県香取市（佐原）案件

千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド

京葉銀行、佐原信金と共に組成した観光ファンドにより、千葉県香取市佐原をパイロット地域として、日本遺産認定ストーリーである江戸文化をコンセプトとした古民家ホテル群を展開。

文化庁様との連携協定により、日本遺産を活用した地域経済活性化の取組をより深化させていく。



日本遺産認定ストーリーである江戸文化をコンセプトとした古民家ホテル群を展開。
文化庁様との連携により、日本遺産を活用した地域経済活性化の取組をより深化させていく。

佐原エリアの宿泊事業：基本コンセプト



時空を超えてEDOを感じる「EDO-MASARI-HOTEL」

「江戸優り」と呼ばれ、水運で繁栄を誇ってきた佐原のまち。
時代の流れの中で東京は江戸の姿を失いましたが、佐原にはその景観や歴史文化が受け継がれています。
江戸の風情を守り受け継ぎながらも、現代の感性で「新しいEDO文化」を創造していくまち。
いまの東京にはない、時空を超えた新しい「EDO」の創造性や息遣いを感じる宿。
それが佐原の宿「EDO-MASARI-HOTEL」です。



Before & After

重要伝統的建築物保存地区に位置する古民家等を、日本遺産認定ストーリーである江戸文化をコンセプトとした古民家ホテル群として活用。

Before



After



佐原商家町ホテルNIPPONIA 位置図

地域経済の活性化に資するため、重要伝統的建築物保存地区に点在する古民家等を、分散型ホテルとして活用することにより、**観光客の地域での回遊性を促す**

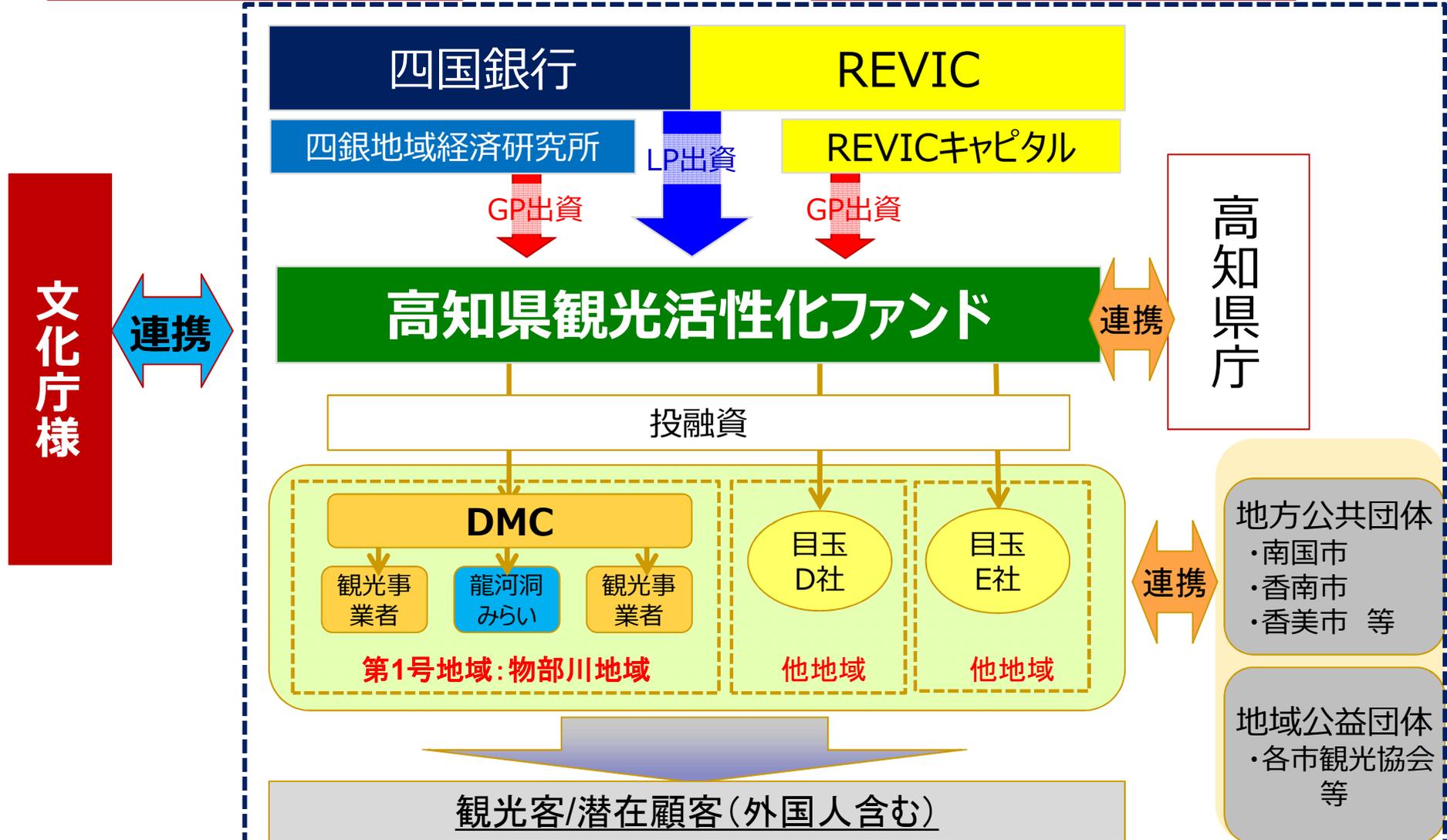


※DMC : Destination Marketing/Management Company
(観光目的地エリアのマーケティング・ブランディング・情報発信を行う株式会社)

高知案件

高知県観光活性化ファンドについて

四国銀行と組成した観光ファンドの取組に置いて、**ものべがわ地域の経済活性化の要**として、**天然記念物「龍河洞」を観光目玉コンテンツ**として磨きあげる取り組みを**文化庁様との連携により更に加速化**させていく。



※DMC : Destination Marketing/Management Company
(観光目的地エリアのマーケティング・ブランディング・情報発信を行う株式会社)

株式会社龍河洞みらいの取組事例

高齢化が進む集落の活性化の要として、**天然記念物の鍾乳洞を観光目玉コンテンツとして磨き上げていく**ため、(株)龍河洞みらいを**設立済**。**文化庁様との連携**により、**体験型コンテンツの面的整備を加速化**させていく。

【法人概要】

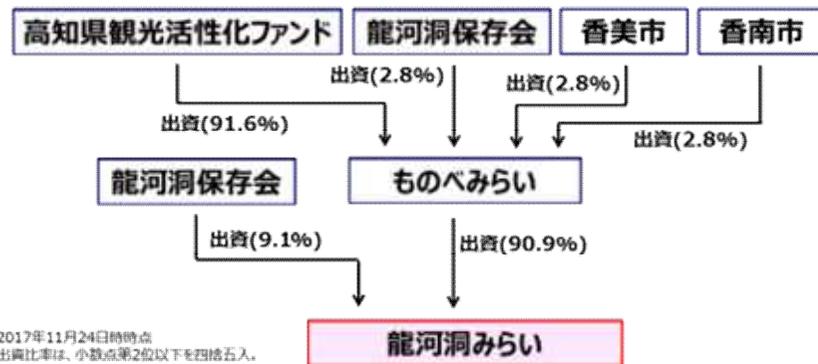
| | |
|--------|---------------------------------------------------------------|
| 法人名 | 株式会社龍河洞みらい |
| 本社所在地 | 高知県香美市 |
| 設立 | 平成29年10月 |
| 資本金 | 11百万円 |
| 主な事業内容 | 日本三大鍾乳洞「龍河洞」のマーケティング、PR、集客コンテンツ企画・開発、オペレーション統括など |
| 代表者 | 代表取締役 古川 陽一郎 (REVICより派遣) |
| 職員数 | 1名 (アルバイト・パート含む) |
| 特色 | 公益財団法人龍河洞保存会への役員等の派遣を通じた経営全般のコンサルティングを行いながら、集落、周辺商店と連携した事業を展開 |

日本三大鍾乳洞「龍河洞」について

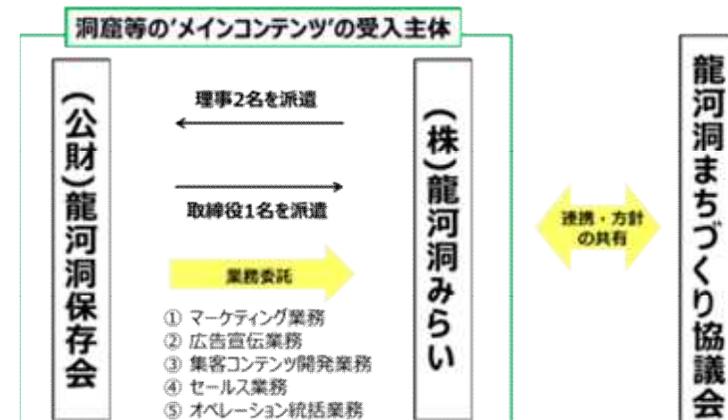
1億7500万年の時間が造形した自然の芸術作品「龍河洞」は、国の史跡であり、天然記念物。文化財を観光コンテンツとして、地域経済活性化の目玉とすべく事業を展開する。



ものべみらいと龍河洞保存会による投資ストラクチャー



龍河洞保存会との協業スキーム



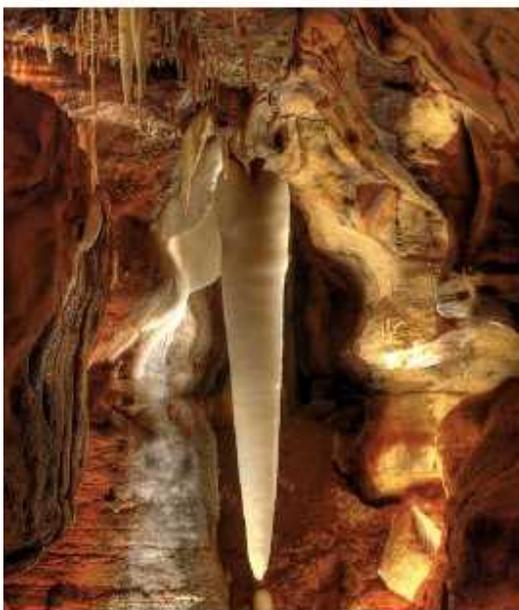
参考：龍河洞一帶全景



整備イメージ案（洞窟）

鍾乳洞という空間としての魅力、そこに対する光と音により魅力を増幅し、忘れることのできない体験を作ります。
また、そもそも龍河洞の持つ歴史や鍾乳石の奇跡なども光を交えた演出で伝えていきたいと考えています。

*具体的なポイントとそれに伴う演出に関しては今後検討。



例：全体的に空間を演出を意識したライティング



例：人感センサー＋見せたいポイントへの視点の誘導



例：洞内のIN→OUTまでの体験ストーリーの構築

整備計画 (案)

アトラクションエリア (あくまでも案)

● = 既補助事業 ○ = 未補助事業

<洞外利便性向上>

- エスカレーター屋根改修+液晶設置
- 緊急搬送トロッコ・救護室・トイレ
- 冒険衣装・グッズ販売所整備 (ボックス)
- 着替え場所整備 (ガイド休憩棟or山繁?)
- 竜王神社整備
- アウトドアアトラクション整備
 - ・トレッキングコース、道具整備
 - ・BBQ場整備

<西本洞整備>

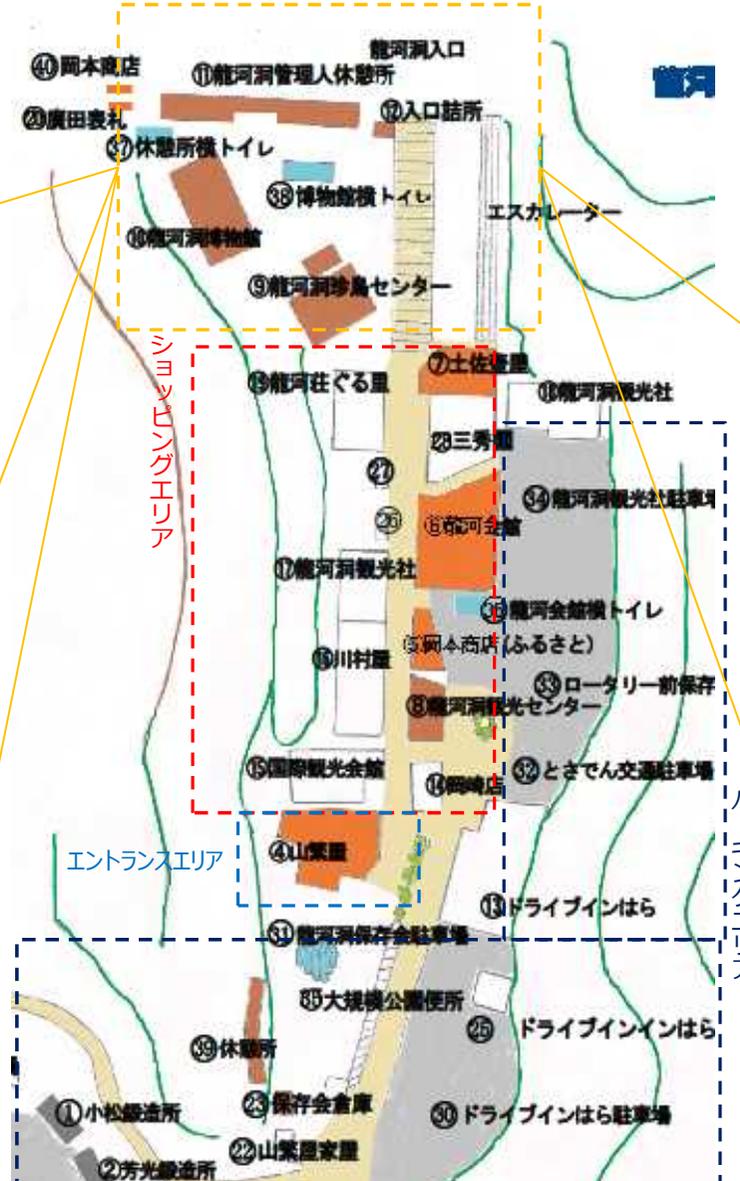
- 超探検アトラクション化
 - ・入り口通路整備
 - ・洞内通路ステップ整備
 - ・洞内けが防止カバー設置
 - ・装備購入
 - ・奈落へののぼり道整備
 - ・水不足問題

<珍鳥センターリニューアル>

- 建屋リニューアル
- ふれあい広場整備
 - ・生き物整理 (珍鳥 + a)
 - ・餌やり、愛玩用鶏だっこ、尾長鶏との記念写真

<博物館リニューアル>

- 建屋多少の改装必要か
- 後プロセスに相応しい振り返りより深く (学術的に) 学ぶ展示品
- 学習コンテンツ整備 (学校行事対応) 動画、ワークショップ、展示



<洞内安全性対策>

- 基礎照明改善
 - ・基礎照明ライト変更
 - ・基礎照明演出変更
 - ・基礎照明制御変更
- 鉄板通路・手すり変更・追加
 - ・鉄板から部材変更
 - ・手すり追加

<洞内利便性向上>

- 見どころ表示変更
 - ・既存物撤去、見所整理統合
 - ・液晶パネルでのデジタル表示 (見どころ、鍾乳洞、現在地表示)
- 注意喚起表示変更
- 音響
- 装置(プロジェクター)設置場所整備
- 通信環境整備
- 貯蔵設備 (ワイン)

<コンテンツ整備>

- 演出照明
- プロジェクションマッピング
- ガジェット
 - ① ライト+AR表示ガジェット
 - ガジェットで照らすと、見所表示の詳細や映像が流れる。
 - ② 通信ガジェット
 - 滝や石を照らすと色が変わるなど反応する。

Disclaimer

- 本資料は、株式会社地域経済活性化支援機構（以下「REVIC」という。）及びその子会社の活動に関する情報提供のみを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料で提供している情報につきまして、その正確性に万全を期して作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。また、過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。本資料に基づきいかなる判断につきましてもREVICはその結果の責任を負いかねます。
- 本資料の一切の権利はREVICに属しており、本資料の全体又は一部の如何にかかわらずいかなる形式においてもREVICに無断で複製又は転送等は禁じられております。